

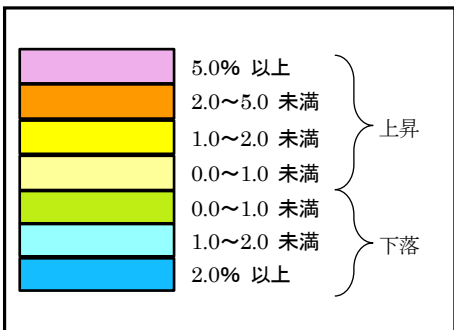
名古屋圏の住宅地

※（ ）は前年変動率

愛 知 県	<ul style="list-style-type: none">○ 名古屋市では、1.3%上昇(1.2%上昇)。<ul style="list-style-type: none">・ ほとんどの区において上昇が続いている。・ 特に中区では、マンション素地需要が堅調で、上昇幅が昨年より拡大した。○ 豊田市では、自動車関連企業の業績が好調等を背景に住宅需要が堅調で、上昇幅が昨年より拡大した。○ 長久手市では、商業施設の集積による利便性の向上や人口増加等を背景に、上昇幅が昨年より拡大した。
-------	---

市区町村別の状況（名古屋圏・住宅地）

平成30年公示



※変動率0.0%の場合、小数点第2位以下の数値を考慮し、色分けをしている。

